

はせさんず

2024 新春号 NO.102

ニュース

2024年1月23日(火)発行

NPO法人たすけあい大田はせさんず

理事長 棧敷 洋子

〒146-0082 東京都大田区池上4-28-3

はせさんず(会員制) 03-5747-2610

ヘルパーステーション 03-5747-2816

ケアサポート 03-5747-2800

デイホーム 03-5747-2660

元気かい 03-5747-2605

FAX専用 03-5747-2620

はせさんずは会員制のたすけあいの会です。入会随時受付!

NPOの非営利活動にご寄付ご支援をお願いします



今できることは何かを考えながら

理事長 棧敷洋子

能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。微力ながら少しでも力になれるよう私たちも行動します。

特定非営利活動法人たすけあい大田はせさんずは、今年で24年目を迎えます。その間、皆様の力をお借りしながら、安心して暮らせる地域社会の

実現に寄与したいと活動してきました。池上駅前通り商店街にあるテラッコ池上で毎週火曜日開催の「寄り道カフェ」は「元気かい」と連携、第2火曜日には講師を招いて「脳トレ教室」を開始しました。1月に始める「元気かいそう」は体を動かす機会が少ない方たち

にぜひ参加してほしいです。昨年8月には、4年ぶりに「池上まつり」が行われ、はせさんずも参加しました。デイホームからはラムネやくじ、お菓子を販売し、小さいお子さんたちに喜んでいただきました。同時にヤングケアラーのライン友だち追加を募りました。そのほか町会のイベン

トに参加しながら、顔の見える関係づくりを模索しました。居住支援の活動も順調に行っています。昨年からは少しずつ実施している「入居してからの見守り活動」を広げていきたいと思っています。

今やるべきことは何か? 今できることは何か? を考えながら、今年も地域に根差した、たすけあい大田はせさんずになれるように努力していきます。

■移送サービス 内山善太

本年も安全運転を心がけるとともに、安心して利用していただけるような送迎のサービスを提供していきたいと思っております。サービスの依頼件数はコロナ以前の水準に戻りつつありますが、活動者が不足しているために、場合によっては泣く泣く断らざるを得ない状況にあります。引き続き移送サービスに協力して下さる活動会員も募集中です!

■元気かい 佐藤 悟

元気かいには、初心者麻雀教室、俳句、英会話サロン、脳トレ教室がラインナップ。参加は自由、自ら世話役になるのも自由、みんなで助け合い連携して活動しています。1月からは運動と笑いでフレイル予防をめざす「元気かいそう」を開始。今日行く(教育)&今日用(教養)事を合言葉で集まる場。いつまでも健康&笑顔で集まれる元気かい「たつ」の年にしていきたい!

■寄り道カフェ 矢嶋早苗

2014年から始めた寄り道カフェ、なんと10年目を迎

■市民後見 菊池三郎

はせさんずでは市民後見の活動をしています。その活動の一環として、任意後見契約があります。判断能力が不十分になった場合等に備えて、ご家族や、専門家・市民後見人等の信頼できる方に後見人になってもらい、財産管理や死後事務等を行います。任意後見契約により、自分らしく生きることのお手伝いをさせていただきます。そして、安心な老後をすごしましょう。

■ヤングケアラー支援 小林恵子

はせさんずヤングケアラーミーティング「つながる和。」

はせさんずヤングケアラーミーティング「つながる和。」



写真左から 菊池 佐藤 矢嶋 内山 榎 清水 小林 岡田 笹口

■訪問介護 笹口文大

介護保険のサービス時間数は前年度より減少しています。登録ヘルパーが10人ほど少なくなり、利用者にご理解いただきながら、多くのヘルパーの協力でサービスを続けていきます。感染症予防対策も引き続き厳しい基準で実施。人員不足もあり、利用者の話を聞いたり、相談にのったりできなかったのではないかと反省しています。これからも本人に寄り添った介護ができるよう、サ責・ヘルパーともに勉強し、努力していきます。

■通所介護 岡田 香

コロナの影響が春頃まで低調な運営で気をもみましたが5類への変更に伴い6月頃より利用が増え始め、対応に追われるうれしい悲鳴のなか年末を迎えました。午後の外出も制約解除し活動範囲を広げるところ、利用者の皆さんに明るさが戻ったのを実感しています。外部ボランティアとの交流も再開し、概ね元に戻りましたが、今後も感染対策に努め利用者の安全・安心を確保した運営を心がけます。

■障害者支援 榎 拓巳

コロナ以前から変わらず居宅介護や移動支援など50名以上の利用者を支援しています。昨夏の猛暑でも支援に入ったヘルパーの皆さんには感謝しかありません。感染症や災害のとき、気温異常などの課題を検討しヘルパーが安全に支援できるよう努めたいと思います。3月からは相談支援事業所を開設し、利用者が安心して地域で生活できるように支援の幅を広げていきます。

■居宅介護支援 清水桂子

ケアマネジャーとして心がけていることは利用者本人の尊重です。その人らしさとは本人の気持ちを感じられるプランであること、それを支えるチームケアであることです。コロナ5類以降は「地域ケア会議」などが再開でき、介護保険だけではなく地域の課題を行政や自治会の皆さんと話す機会がもてたことをうれしく思います。地域共生社会の構築に向けてみんなで力を合わせていきましょう。

第25回講演会のお知らせ

テーマ 「超高齢社会、どこに住んで、どう暮らすか(仮)」
—自分自身が納得できる人生のために—

- ・日時：3月23日(土) 午後1時～3時
- ・場所：大田区立池上会館 第2会議室
- ・講師：川口 雅裕さん

NPO法人「老いの工学研究所」理事長



研修会の様子

移送サービス活動者研修会
第31回移送サービス安全
運転研修会を昨年11月16日
(金)、池上会館第3会議室
で池上警察署の鈴木久美子
さんを招いて実施しました。
参加者11名。安全運転や大
地震時の運転などについて
学びました。



家庭裁判所の前で

市民後見フォローアップ
昨年10月16日(月)、20
23年市民後見人養成基礎
講座のフォローアップとし
て東京家庭裁判所の見学を
実施しました。参加者8名。
成年後見制度の仕組みを再
確認した後、家裁職員の案
内で調停室や審判席などを
見学しました。情報のIT
化が家裁の課題ということ
でしたが、複雑な人間関係
を調停・相談する仕事は大
変だと感じました。



ジャンプ!

中学生の職場体験
大田区立大森第四中学校
の2年生が2人、11月28日
(火)から3日間の職場体験
学習として、はせさんず
来所。デイホームで外出に
同行したり、一緒に脳トレ

に挑戦したりして高齢者と
交流しました。
得意なことを説明するプ
レゼンテーションで、ハン
グルを勉強中の生徒は韓流
スターの推し活を発表し、
陸上部に所属する生徒は立
ち幅跳びで見事な
ジャンプを披露し
て、高齢者の拍手
喝采を浴びました。
高齢者との交流が
よい経験になった
ことと思います。



おおた福祉フェス会場の様子

れました。介護無料相談コー
ナーやマッサージ体験コー
ナーもあり、キッズケアコー
ナーでは約100人の子ど
もたちが介護職への応援メッ
セージを書いてくれました。

おおた福祉フェス2023
昨年12月10日(日)、大田
区産業プラザPioで4年
ぶりに開催されました。大
田区介護保険サービス団体
連絡会と大田区の主催で、
はせさんずも参加。「介護・
福祉の未来へ新しい挑戦」
を掲げ、合同就職説明会や
次世代介護機器展示が行わ

はせさんず各部門スタッフより 聞いて! 聴いて! 新春スペシャル

事務局 (保育担当)

柴田京子



膝と股関節が悪く
歩くのも辛い時期も
ありました。色々試
して少しずつ歩けるようになり、
去年は「お江戸・東京坂
タモリ港区編」という本に出
会い、体調のよい日に本とスマ
ホを片手に見知らぬ土地をキョ
ロキョロしながら、港区坂巡
りをしました。思ったより歩
くことができ楽しになりました。
今年は見知らぬ東京と出会
いたいと思っています。

ケアサポート (ケアマネジャー)

鈴木敦子



趣味のつるし雛も
12年、今年は辰を仕
上げました。つるし
雛は着物の切れ端で、健康や
五穀豊穰等の願いを込めて作
るといわれます。コロナ禍で
は仲間を集えず残念でしたが、
おこもり中は行ってみたい旅
行や、ときには利用者の悩みに
想いを馳せながら、出来上
がったときの喜びは格別。私
の密やかな日々のストレス解
消で、癒しとなっています。

デイホーム (生活相談員)

蔵野明子



渋柿を干す「だけ」
で高級品に変わる干
し柿。皮をむいて干
すだけと簡単に考え挑戦した
ところ、枝を残して皮をむき
紐に吊るす、カビを防ぐ消毒
作業、甘く美しいオレンジ色
に仕上げる揉み作業etc. と
ても手間暇がかかりました。
一つ一つの作業が干し柿をお
いしく仕上げると思うと納得
です。栄養豊富な干し柿は先
人たちの知恵の結晶なの
ですね。

デイホーム (生活相談員)

豊田奈々江



私は山に登るのが
大好き。山といっ
ても今流行りの低山
です。早起きして昼頃には山頂
に到着するようにしています。
登りはとても苦しいですが、
それでもがんばって歩き続け
て山頂に立ったときの爽快感
と達成感は何物にも代えられ
ないすばらしさがあります。
山登りに出会えたことでいい
気分転換になり、また明日か
らがんばろうと思えるのです。

ヘルパーステーション (サ責)

櫻井真美



仕事でろう学校の
送迎をして手話に興
味をもち、手話を習
い始めて1年8か月になり
ます。いまだに手話で話すのは
難しく、習った手話は次から
次へと頭から抜けていきます。
それでも先生や皆と話したく
て、日々勉強中です。3月で
中級クラスも卒業、4月から
は上級クラスに進級するので、
そろそろ気合を入れてがんば
らなければと焦っています。

ヘルパーステーション (介護職)

風間孝之



介護の仕事に携わっ
て13年。高齢の方と
関わるのが好きで
この職につきました。人生の
大先輩から教わることの多さ
には今さらながら驚かされま
す。年を重ねていったとき、
この経験が役にたつと信じて
います。趣味のゴルフ仲間
には今年90歳を迎える人も
います。この先は健康長寿を
目標にして、仕事、趣味に邁
進して行きたいと思っています。

ヘルパーステーション (介護職)

佐藤美千代



はせさんずに勤務
をしてまもなく1年
になりますが今でも
初めてのお宅に訪問する
ときは毎回、どんな方なん
だろう、受け入れてもらえる
だろうか、緊張と不安でいっ
ぱいになります。訪問を重
ねることで利用者とコミュニ
ケーションしながら、安心
して楽しく前向きに生活を
してもらえるサービスを提
供できるように日々努めて
いきたいと思っています。

ヘルパーステーション (介護職)

堀越夕子



昨年4月から、は
せさんずに勤務して
います。以前は神奈
川県にある高齢者の知的障
害者支援施設で働いていま
した。自然あふれる田舎か
ら東京に引っ越し、現在は
一人暮らしでおいしいパン
屋を開拓中です。初めての
訪問介護は戸惑うこともあ
りますが、利用者の笑顔と
先輩方の丁寧な指導に助
けられながら、これからも
がんばりたいと思っています。